

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月12日(水)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
1 平田 安則 議 員	1. 佐敷海岸 海辺のまちづ くり構想関連 について	<p>12月定例会で状況確認を致しましたので再質問させていただきます。2月5日には、沖縄県の所管課と意見交換会も行いましたので、その内容を含め下記についてお伺いします。</p> <p>(1) 県との意見交換会の中で、新開護岸予備設計前に、地域説明や意見聴取等を行ったどうか確認を取って、市土建部を通して回答する旨の説明があったが、その回答はあったのか、あればその内容</p> <p>(2) 馬天港「令和6年度に関しては、200万円の事業費しかついておりません」、「駐車場確保については、港湾利用による課題がある」との答弁でしたが、現在行われている工事の状況と、港湾利用による課題とは、何を指しているのか</p> <p>(3) 県河川課は、護岸未整備や築島や砂州流動等により発生している、沿岸部住環境悪化への対応について、市で対処してもらうとの発言があったが、市の構想における考え方は</p> <p>(4) 市及び議会は、これまでMTP佐敷東地区に代わる新たな構想実現に向けて、沖縄県が主体的に取り組み具現化を求める要請や中城湾港港湾計画改定同意時に市長要請もしていますが、沖縄県は所管毎の対応に終始するような姿勢が見えます。</p> <p>中城湾港港湾計画の早期進捗の為の重要な要素トカゲハゼ保全の役割分担や戦後米軍による浚渫土砂投棄に起因する砂州の移動による沿岸域の諸問題は、県及び国にも責任があると考えますが、県に合わせ国(沖縄総合事務局)にも要請を行う必要があると考えますが市はどのように考えるか</p>	市 長
	2. 市内農業 の課題につい て	<p>12月定例会での答弁をもとに以下伺います。</p> <p>(1) 耕地面積、農地転用状況や耕作地等の細かい数値を提示いただきました。私なりに数字を整理してみましたら106haの耕作放棄地があり、農業に活用されていない状況がうかがえますが、その対策について</p> <p>(2) 酪農を例に、「循環型農業を目指しています」「一過性ではなく継続していきたい」との答弁でした。酪農以外で取り組んでいる事</p> <p>(3) 「若者をどう農業のほうに就業させるかというのが課題」「きつい」という答弁もされておりました。新しい農業技術(スマート農業やドローンによる監視、AIによる収穫予測など)導入支援状況</p>	市 長
	3. 国道 331 号バイパス早 期整備を求め	<p>本年2月10日に、商工会主催で、各種団体及び市民が結集し住民総決起大会が開催されました。国道331号バイパス早期整備を求める強い思いが、会場を埋め尽くした多くの市民</p>	市 長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月12日（水）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
	る活動について	や各種団体の総意として示されました。市の今後の活動方針、計画等を伺います。	
2 松田 兼弘 議 員	1. 水道事業について	<p>いのちの水である水道事業は基礎的な社会インフラであり憲法の下に国民の生存権、生活権を保障し国、自治体の責務を謳っています。</p> <p>水道法は、「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与する」等々を定め国、自治体にその責務を定めております。市民のいのちと暮らしを守る立場より以下を伺います。</p> <p>(1) 本市の水道事業の現状と課題を伺います</p> <p>(2) 水道料金据え置きを求めることについて</p> <p>① 本市の水道料金算定の詳細を伺います</p> <p>② 国の自治体（水道事業者）への財政支援の現状を伺います</p>	市 長
	2. 会計年度任用職員の処遇改善について	<p>(1) 12月議会の会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例可決後の改善策の進捗状況を伺います</p> <p>(2) 「3年公募」撤廃について</p> <p>上限回数を問わず公募によらない再採用が可能になりました。本市も国に準ずるよう求めます</p>	市 長
3 新里 嘉 議 員	1. 学習支援員について	令和7年度もフルタイムではない勤務形態で予算計上されています、我々議会は昨年6月フルタイム形態へ戻してほしい旨の陳情を全会一致で採択致しました。委員会ではその点も踏まえどのような議論があり、今回の予算計上となったのか伺います。	教育長
	2. 共助のまちづくりについて	市道、農道等の補修、改修工事を自治会が実施（行う）する際に活用されている原材料等支給事業は、毎年多くの申し込みがあり、予算枠もすぐに埋まってしまうと聞いています。共助のまちづくりを進めていく上でも、一役を担っているとも言っているこの事業の予算増を要望するが、所見を伺います。	市 長
	3. 大里北小学校周辺の安全対策について	<p>① 以前より要望がありました、市道南風原田原線、市道土改1号線が交わる三叉路付近への信号機設置が公安委員会から認可されたと聞いているが、設置へ向けた課題、今後のスケジュールについて伺います</p> <p>② 沖縄県企業局の大里調整池前の通学路は歩道整備がされておらず危険な区間である、注意喚起のため、通学路のカラー舗装が出来ないか。所見を伺います</p>	市 長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月12日(水)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		③ 農道嶺井土改16号、小学校運動場付近の道路中央陥没は応急的処置での対応は限界と感じる、抜本的な対策を講じる予定はあるのか、所見を伺います	市長
	4. 宮平川河川改修について	以前の質問に対する答弁で、下流側に位置する南風原町、そして沖縄県と改修工事に関する協議を行っていきとありましたが、その後の進捗について伺います。	市長
	5. 不法投棄対策について	市内全域において不法投棄は横行し、対策は本市の大きな課題となっております。以前より看板設置、チラシ配布等の注意喚起は行っているものの、夜間帯を中心に行われる投棄に対しては対策が頭打ちになっているのが現状です。これ以上の不法投棄は絶対に許さないという強い気持ちのもと、罰則の更なる強化、防犯カメラ、防犯灯の設置、通報システムの構築など、とれる対策はすべて講じていくべきだと思いますが、所見を伺います。	市長
4 安谷屋 正 議 員	1. つきしろ南 IC 地区区画整理事業について	以下にお伺いします。 ① 整備完了予定時期 ② 住宅地予定区画数、および建築物の高さ制限をどのように設定するのか（都市計画マスタープランでの中低層の定義） ③ NOLL 南城の進捗状況 ④ 準工業地区および商業用地地区における企業誘致等、現状の取り組み状況	市長
	2. 南城市構造改善センターについて	糸数区にある改善センター（体育館）は築40年程度が経過しており、区として施設の修繕・改修等にかなりの予算を費やしてきた経緯がある中、近年雨漏りによる漏電などが発生し、大規模な改修工事が必要になっている現状があることから、区からも幾度となく改修にかかる費用に対する補助金要請が提出されているはずですが、現状認識と今後の対応の在り方について伺います。また、同様な施設が市内に何か所（施設名含む）あるのか伺います。	市長
5 仲間 光枝 議 員	1. 上下水道事業について	地中に埋まって目視出来ない上下水道管の管理は容易ではなく、1月28日に埼玉県八潮市で起きた下水管破損による道路陥没事故以外にも、上下水道管の老朽化に起因する漏水、陥没事故は全国で多発しています。特に、上水道の漏水事故は年間2万件以上発生しているとの報告があり、耐用年数を超えた水道管の割合は年々上昇し、全ての管路更新には130年以上かかるとも言われています。 水道法では、国や地方自治体の責務として安心安全な水の供給について定めており、国民の健康や生命に直結すること	市長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月12日(水)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>から、今後も公共事業としてしっかり守り続けていく必要があると思います。以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、上下水道管の耐用年数とそれぞれの総延長</li> <li>2、耐用年数を超えた上下水道配管長(率)</li> <li>3、上下水道事業における各維持管理コスト(直近3年平均)</li> <li>4、上水道における漏水調査の現状と課題</li> <li>5、本市下水道管における八潮市のような重大事故リスクに関する見解</li> <li>6、上下水道使用料の見直しについて協議体の有無と今後の予定</li> </ol>	
	<p>2. 蛍光ランプ製造中止に関する周知とLED化について</p>	<p>令和6年2月、都道府県や指定都市宛てに、経産省・環境省連盟による「蛍光ランプの製造・輸出入廃止に向けた周知について」の事務連絡が発出されました。</p> <p>2027年末までに計画的なLEDへの切替えを進めるよう協力を求めています。本市の取組み状況について以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、市内公共施設数と全体のLED化に係る調査・試算について</li> <li>2、公共施設における現在のLED化率と今後の計画について</li> <li>3、自治会への支援実績と今後の計画(予定)</li> <li>4、市内事業所への支援実績</li> <li>5、市民への周知や支援について(一般家庭への支援策有無や予定)</li> </ol>	<p>市長</p>
	<p>3. ウェルネス×観光のまちづくりについて</p>	<p>ウェルネスとは、健康を広義に捉えた概念であり、琉球大学ウェルネス研究分野の荒川雅志教授は「身体・精神の健康、環境の健康、社会的健康を基盤にして、豊かな人生をデザインしていく、自己実現」と提唱しています。ウェルネスと観光、DMOが目指す地域と旅行者双方がメリットを実感できる観光まちづくりについて、以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、ウェルネスをテーマとした着地型体験プログラムとは(先進事例やイメージしている事)</li> <li>2、観光地域づくり法人(DMO)設立に向けた取組みについて             <ol style="list-style-type: none"> <li>① DMO設立の理由(メリット等)</li> <li>② 法人形態、本市との関係性や関係予算等について</li> <li>③ DMO設立に向け、関連事業者や観光協会、商工会等との意見交換や研修等の予定</li> <li>④ DMO登録5要件のうち、特に「多様な関係者との合意形成」についての見解</li> </ol> </li> <li>3、県内の一部自治体で観光客を対象にした医療モビリティの実証実験が行われました。本市での導入余地や本事業への見解</li> </ol>	<p>市長</p>

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月12日（水）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
	4. 男女共同参画関連事業について	<p>本市における男女共同参画を総合的かつ計画的に推進することを目的とした推進条例が2016年11月に策定され、翌2017年2月には男女共同参画都市宣言を行いました。</p> <p>さらに、10年間の行動計画として「なんじょう四間切輝きプラン」が2018年3月に作られた事で本事業が充実拡充していくように思えました。現在は中間見直しを経て残る3年間でこの10年計画をどう締めくくれるかになっていますが、現状と認識を以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、行動計画2018年度策定時と2023年度改定での変更、見直し事項</li> <li>2、男女共同参画関連の主な事業及び予算と執行率（令和4年度、5年度分及び6年度の現時点における実績）</li> <li>3、本市における課長職以上の女性登用率（人数）と現状認識及び課題</li> <li>4、行動計画にある施策項目「女性団体連絡協議会（仮称）の設置促進」について進捗状況と現状認識</li> </ol>	市長
	5. 大規模災害への備えと避難所のトイレ問題について	<p>阪神淡路大震災の際に「トイレパニック」と呼ばれた避難所のトイレ問題は、その後も大災害のたびに起きており、過去の教訓を活かしきれていない現状があります。トイレに行きたくなくて食事やお水を制限したり、不衛生な状況のストレスから健康を害し、災害関連死に繋がる恐れもあることから、避難所における最重要課題だと思います。本市の取組みや考え方を以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、市役所の避難所としての（計画上の）最大収容人数</li> <li>2、最大収容人数に対する非常食や飲料水の備蓄状況</li> <li>3、最大収容人数に対する必要トイレの考え方と種類、設営等具体策             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 断水していた場合</li> <li>② 下水道が使用出来ない場合</li> <li>③ 断水していて下水道も使用出来ない場合</li> </ol> </li> <li>4、し尿処理について予想される事と対策案（特に長期化した場合）</li> </ol>	市長
6 宮城 尚子 議員	1. ハラスメントのないまちづくりについて	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 市長施政方針で例年ほぼ明文化されている男女共同参画事業関連について、令和7年度は記載がない理由について伺う</li> <li>② 2027年までの「第2次南城市男女共同参画行動計画改訂版～なんじょう四間切り輝きプラン」が策定されており、基本方針の中でも「あらゆるハラスメントなどの人権侵害の根絶、がうたわれている。新年度の具体的な計画について</li> </ol>	市長 教育長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月12日(水)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>伺う</p> <p>③ 近年、県内においても子どもへの性被害が増加傾向にあるが、保育園・こども園・こどもの居場所・小中学校について、以下伺う</p> <p>(1) 性被害が起きた場合の本市における対応</p> <p>(2) 性被害を予防するための本市の取り組み</p> <p>④ 外部相談窓口の利用件数</p>	
	2. 市長セクハラ疑惑関連	<p>2月19日付けで那覇地検は、強制わいせつの疑いで書類送検された古謝景春市長について「嫌疑不十分」で不起訴処分を公表した。これを受け、報道各社への発言の中で市長は「やっていない事実が証明されて本当にありがたく思っています」と発言している。那覇地検は不起訴の理由として「いずれも(元運転手の女性への虚偽告訴についても同日、嫌疑不十分で不起訴処分)、犯罪の成立を認めることは困難であると判断した」としている。これは不起訴により、市長の「やっていない事実が証明された」という事には相当せず、疑いが完全に晴れたものではないものの裁判で有罪とするほどの証拠がないという場合が「嫌疑不十分」とであると認識するものである。しかしながら、市民の間からは「市長の無実が証明されたということか?」等の声も寄せられており、間違った情報の流布により誤解を生じ、混乱を招きかねない状況にある。法律の専門家であるということであったが、市長の認識を伺う。</p>	市 長
	3. まちづくり交流拠点について	<p>① 導入機能について、議員説明会・市民説明会でも示された「再編で集約する機能」と「導入を検討する機能」のそれぞれの進捗状況を伺う</p> <p>② 施設の名称・ロゴ等について、広く市民からの公募にはいかがか</p> <p>③ 現在、包括業務委託の図書館司書の今後の雇用形態について</p>	市 長
	4. 持続可能で「繋がる」市民生活をめざして	<p>① 食料自給率の向上をはじめ「食と農」について今後さまざまな観点から行政レベル、家庭レベル、市民目線でめざし取り組んでいくために、以下伺う</p> <p>(1) 農蓄水産物利用促進拠点の整備計画も進む中、農業従事者や市民農業大学、農業委員会だけに留まらない広く市民も含めたこれからの「食と農」に関するタウンミーティングのような機会が必要と考えるが見解を伺う</p> <p>(2) 本市における稲作に取り組む農家数、団体数について</p> <p>② 環境に配慮した市民生活のために、本市では生ゴミ処理奨励金制度があるが環境に配慮した、南城市生まれのエシ</p>	市 長 教育長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月12日（水）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>カルな洗剤「キビウォッシュ」への購入補助制度は可能か</p> <p>③ 教育と地域の場における「繋ぎ手」「繋ぎの場」である以下について伺う</p> <p>(1) 地域コーディネーターの配置状況と課題について</p> <p>(2) 地域コーディネーターによる企画プログラムの実施状況について</p> <p>(3) 地域連携室の配置状況および位置付けと役割、今後の在り方</p>	

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月13日(木)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
7 大城 喜弘 議 員	1. 自治会の加入促進について	<p>自治会は、子供たちの登下校の見守りなどの防犯、交通安全活動・防災訓練、避難用具の管理、防災等管理などの防災活動・地域内の清掃などの環境美化活動・地域の伝統文化の継承活動・集会所、公民館などのコミュニティ施設の管理・回覧板や掲示板などによる情報伝達活動・自治会費、赤い羽根募金などの寄付金の徴収・行政への陳情要請、また行政や警察などと連携を取ることで地域の治安維持に努めるといったことを実施しています。しかし、近年共働き世帯の増加により、仕事と自治会活動の両立に負担を感じる家庭が増えています。役員に当たると、平日の夜の会合に出席したり、休日にはイベントの準備や運営に駆り出されたり、からだを休める時間や家族や友人と過ごす時間が少なくなるなど、プライベートが削られることを不満を感じる人もいます。私の区でも、なかなか区長や書記などの後任を探すのも厳しくなっています。高齢者や非加入世帯の増加により、活動の担い手が減り同じ人に負担が偏り悪循環になっていると思う。また、自治会費の支払いや役員になったときの負担を考えて自治会に加入しない世帯も増えています。しかし住みやすい地域にするためには、自治会の活動がなくてはなりません。そこで、以下について伺う。</p> <p>① 過去5年の自治会加入率の推移</p> <p>② 自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例の制定についてどう考えるか</p>	市 長
	2. 地域の問題	<p>1、最近、通勤するにしても買い物するにしても各家庭一人一台の車時代になっていると思う。湧稲国部落内を走る車が急激に増えている。朝の通勤時には、部落内の市道が渋滞になり、整備されてない抜け道を利用する車が増えています。湧稲国区長からも陳情要請があったと思うけど、市道0-111正頭～坂本線という市道ですけど、朝晩は通勤の人が使用し、また農家の人が農作物の出荷時に利用し、最近では観光客がカーナビでこの狭い道路に入り込んで接触事故もあったと聞いた。幅員が極端に狭くなりとても危険な市道である。</p> <p>そこで以下について伺う</p> <p>① 残り 60m程度だけなぜ下の道路まで取り付け整備しないのか</p> <p>2、稲嶺地区の床上浸水という甚大な被害があった件ですけど、前回の答弁で土木建築部では、当該排水路について、沖縄県と緊急自然災害防止対策事業による実施に向けて調整してまいりましたが、対象施設等の条件に合致しないとい</p>	市 長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月13日(木)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		うことで事業採択に至らなかった。農林水産部との調整を進めているとの答弁でありました。以下について伺う ① 昨今の異常気象で余談を許さない状況の中、農林水産部との調整は、どの程度まで進んでいるのか進捗状況を教えてください	
8 運天 貴也 議 員	1. 環境問題について	本市は、令和4年12月、近年の環境を取り巻く変化に的確に対応し、より一層、環境への取組みに力を入れるため、「第2次南城市環境基本計画」が策定されました。環境問題の取組みについて以下伺う ① 畜産糞尿処理バイオマス施設の整備について伺う ② 海岸を美しく保つための美化清掃活動について伺う ③ グリーンエコリサイクルセンターについて伺う ④ 不法投棄の状況と対策について伺う	市 長
	2. 弁当の日について	本市の「弁当の日」は、平成20年、県内初の取組みでスタート。17年目を迎え以下について伺う ① 当時の目的と、現在の取組み状況を伺う ② 近隣自治体の取組み状況を伺う ③ 学校現場及び保護者からの声について伺う	教育長
	3. 道路整備について	昨年、市道新里佐敷線に車両を減速させる目的のハンプが設置されましたが、交差点付近は片側のみの設置になっている。その理由と危険度について伺う。	市 長
	4. 施政方針について	令和7年度の主要施策について以下伺う ① 「AI技術を通じた水産業におけるスマート漁業」とある。事業内容について伺う ② 「上下水道は、住民生活に必要不可欠なライフラインであり、老朽化による事故等が発生した場合、大きな影響を与えることから更新を進める」とある。更新内容を伺う ③ 「おくやみ手続きの庁内連携を強化し、市民サービスの向上に努める」とある。強化内容を伺う	市 長
9 銘苅 哲次 議 員	1. 健康行政について	いよいよ「带状疱疹」を予防するワクチンがこの4月より定期接種化され、接種費用の一部が公費助成されることになりました。 私は带状疱疹ワクチン接種について、令和5年6月定例会の一般質問にて取り上げ、推進させていただきました。 本市における接種費用助成についての詳細、また4月スタートに向けての準備状況及び周知方法等の見解を伺います。	市 長
	2. 小中学校体育館の空調設備整備につ	文部科学省が令和6年度補正予算にて「空調設備整備臨時特別交付金」を新設しました。児童生徒の安全安心な教育環境の整備はもとより災害時の避難場所として重要な施設でもあ	教育長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月13日(木)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
	いて	<p>る小中学校体育館を機能強化することは大変重要な課題であります。</p> <p>整備に向けた本市における検討状況と課題についての見解を伺います。</p>	
	3. 防災ラジオ導入について	<p>市民を災害時から守る手段として防災行政無線を活用して情報提供していますが、その防災無線は各自治会を介して屋外に設置しているスピーカー放送となっています。その放送は場所や悪天候時など聞き取りにくい状況になることがあり、情報弱者である高齢者の方から不安の声があります。</p> <p>市民の安全安心な暮らし、また命を守るため「防災ラジオ」を本市で導入し、的確な音声で緊急情報等を得ることが出来る環境を整備していただきたく、見解を伺います。</p>	市 長
	4. 地域課題について	<p>県道 48 号線から市道山川道～大城線に入る際、夜間時に街灯が無い場合、非常に暗くて分かりづらいとの指摘があります。この山川道～大城線は現状でも船越地区から大城地区に抜ける市道であり、また、今後は南部東道路の大城 IC へのアクセス道路の船越大城線の開通が予定されているため、重要な箇所になると予想されます。</p> <p>以上のことも踏まえ、対策が必要だと思いますが、見解を伺います。</p>	市 長
10 宮城 秋夫 議 員	1. 市長公約について	<p>2022 年に古謝市長が再選されて3年が過ぎました。選挙時に市民に約束された公約について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) With コロナ、After コロナ対策を徹底し市民が健康で活力あるまちづくり</li> <li>2) 人と自然と先端技術が調和した活力あるまちづくり</li> <li>3) 子どもが夢と希望を持ち、可能性を引き出せる教育環境のまちづくり</li> <li>4) 高齢者や障がい者が生きがいと安らぎの持てる福祉のまちづくり</li> <li>5) 環境にやさしい先端技術の集積によるデジタル田園都市のまちづくり</li> <li>6) 農業・畜産業・漁業・ものづくり産業等を支援し、若者に夢と希望が広がるまちづくり</li> <li>7) 歴史と伝統文化を継承し、世界に誇れる平和なまちづくり</li> <li>8) 災害に強い安全安心なまちづくり</li> <li>9) 広域連携による南部広域のまちづくり（環境衛生・道路・観光・公共交通・災害等）</li> </ol> <p>上記9件の着手、達成状況、課題等について</p>	市 長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月13日(木)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
	2. Nバスの運行状況について	<p>2019年10月にNバスが運行して、6年目となります。以下について伺います。</p> <p>1) これまでの5年間の収支状況</p> <p>2) これまでの運行に関する課題及び改善状況</p> <p>3) Nバスデー（仮称）の活用状況</p> <p>4) 高齢者及び障害者無料の利用状況</p>	市長
	3. 地域課題について	<p>1) 大里中学校長、当間区長、平良区長の連名で大里中学校近くの旧77号線への防犯灯設置の要請があります。何らかの対策をとる必要があると思われれます。そこで以下について、伺います</p> <p>① 現場状況把握その対策について</p> <p>② 今後のスケジュールについて</p> <p>2) 稲嶺交差点の渋滞解消について、伺います</p> <p>① 交差点の改良について、これまでの経緯、課題</p> <p>② 今後のスケジュールについて</p>	市長
11 徳田 高男 議員	1. 子育て支援について	<p>市長の施策方針では、「放課後の子どもの居場所について多様な居場所づくりに努めていく」ことがうたわれており、児童館・放課後児童クラブ・ムラヤーを活用した多様な居場所の確保が示されています。しかし、船越小学校・玉城小学校地域には児童館がなく、放課後の子どもの居場所に困っている家庭が存在しています。学童保育の費用負担が大きく、無料で利用できる児童館の設置を求める声があります。そこで、以下の点について伺います。</p> <p>① 児童館がない地域に新設する計画の有無を伺います</p> <p>② 児童館と学童保育の年間の運営費用の比較について、市の見解を伺います</p> <p>③ 本市では出生数も増加しており、流入も増えていることから今後さらに子どもを受け入れる施設が必要になると考えますが、市の対応方針を伺います</p> <p>④ 児童館整備に活用できる国や県から受けられる補助金について伺います</p>	市長
	2. 子供の自殺対策について	<p>① 本市の小中学校での自殺予防教育の実施状況等はどうなっているか伺います</p> <p>② 教職員や保護者向けの研修として、厚生労働省のゲートキーパー研修動画等を活用できないか伺います</p>	教育長
	3. 観光振興	<p>本市には多くの歴史的資源が存在しますが、その中でも木田大時は南城市にゆかりのある重要な人物でありながら、現在その名を知る市民は限られています。彼の功績を広めることは、地域の歴史や文化を再認識し、郷土愛を育む大きな機会</p>	市長 教育長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月13日(木)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>となると考えます。</p> <p>また、玉城前川にある木田大時屋敷跡も、観光資源として活用が期待されますが、現状では十分な整備が行われておらず、大雨時には道路に石が転がるなどの問題も報告されています。こうした状況を踏まえ、木田大時の周知活動と屋敷跡の整備について、以下の点をお伺いいたします。</p> <p>① 文化資源としての価値をどのように評価しているか、お伺いします</p> <p>② 観光資源としての活用に向けた整備が可能か、お伺いします</p>	
	4. 地域課題	<p>県道48号線の船越バス停(上り・下り)では、通勤・通学時の混雑が激しく、バスの停車による交通に影響がでています。バス停の近くには小学校の乗降場所もあり、児童の安全確保の観点からも整備の必要があると考えます。</p> <p>① 県道48号線の船越バス停(上り、下り)バス停車両停車帯設置の整備ができないか伺います</p> <p>② 下り線バス停の上屋の整備ができないか伺います</p>	市長
12 普天間 真也 議員	1. コミュニティ・スクールについて	<p>(1) 本市では令和4年度から小学校、翌年から中学校で導入され、それぞれ2、3年が経過しようとしています。以下について伺います</p> <p>① 小学校・中学校でのこれまでの成果や課題について</p> <p>② 市内各学校の学校運営協議会の設置状況</p> <p>③ 地域学校協働活動事業の実施内容</p>	教育長
	2. 社会教育、生涯学習の推進について	<p>(1) 本市では令和4年9月に玉城の中央公民館が老朽化により閉館しその後解体されました。今議会では唯一残る船越公民館を閉鎖するため、公民館の設置に関する条例を廃止し、実質的にも条例上も社会教育法上の公民館が無くなる予定です。</p> <p>本市における今後の社会教育の在り方について確認したく、以下伺います</p> <p>① 今後の公民館機能の移行について</p> <p>② 社会教育団体等の人材育成を目的とした講座の実施状況(過去・現在)</p> <p>③ 障がいのある人の生涯学習支援についての実施状況</p> <p>④ 生涯学習推進計画等の有無</p> <p>⑤ 生涯学習推進本部等の有無</p> <p>⑥ 教育委員会内における社会教育主事の配置状況(過去5年間)</p>	教育長

## 令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月13日（木）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		<p>⑦ 本市職員全体における社会教育主事資格保持者数</p> <p>⑧ 市内各学校教職員における社会教育主事資格保持者数</p> <p>⑨ 市民の社会教育主事講習受講について市が周知、援助できないか</p>	
	3. 沖縄科学技術大学院大学(OIST)との連携について	<p>(1) 本市で取り組まれている OIST との連携事業やイベントについて、以下について伺います</p> <p>① 現在まで OIST との連携によってどのような事業やイベントが実施されてきたのか、これまでの実績と今後の計画について伺います</p> <p>② 現在、どの部門が OIST との連携を担当しているのか、具体的に窓口を設けているのか伺います</p> <p>③ 他市町村における OIST との連携事例について、どのような取組を行っているのか、その成果や学ぶべき点について本市の見解を伺います</p> <p>(2) 令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰、科学技術賞（科学技術振興部門）の受賞者として、県出身者である OIST の島袋静香博士が選出されました。</p> <p>島袋博士が携わっている ADHD の特性を持つ子どもの保護者向けプログラム開発について、令和5年4月から令和7年3月まで沖縄市立山内小学校とうるま市立川崎小学校において、教育委員会と連携してペアレント・トレーニングと教員向けビデオ教材を使った支援を実践しているところです。</p> <p>今後、ADHD の特性を持つ子どもやその家族が早い段階で気軽に支援を受けられる社会環境を整えていくための実装研究にさらに力を入れていく予定だと伺っております。</p> <p>ぜひとも本市とも連携ができないか、所見を伺います</p>	教育長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月14日(金)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
13 森山 悟 議 員	1. 南城市福祉センター跡地について	南城市福祉センターは令和6年度に解体工事が行なわれましたが、今後の計画について伺う ① 市が考える今後の跡地利用計画について伺う ② 近隣の住民に対して跡地利用の計画に対しての説明会の予定について伺う ③ 福祉センター解体後の跡地の管理について伺う	市 長
	2. 百名ビーチの管理について	南城市百名ビーチ付近には、「アマミキヨ」が上陸されたと示すヤハラヅカサは南城市指定有形民俗文化財に指定されています。又近くには浜川御嶽などアマミキヨが少しの間住んでいたとされる場所もあります。 ① 百名ビーチの管理について伺う ② 参拝者の現状把握について市の取り組みや今後の対応について伺う ③ 看板等の設置や取り替え予定について伺う	市 長 教育長
	3. Nバスの運行と路線バスとの連携について	令和元年10月からNバスが運行し、約7年がたちましたが、今後の取り組みや課題について市民からの声があると思いますが以下について伺う。 ① Nバス運営の課題及びその解決について伺う ② Nバスと乗り換えに伴い路線バスとの連携について伺う	市 長
	4. 南城市においての道路陥没の危険性について	今年1月に埼玉県において道路が突然陥没し、走行中のトラックが転落する事故が起きました。 この陥没による原因が老朽化した下水道管の損傷が事故の要因であるとの報道がありました。以下について伺う ① 南城市内を通る国道・県道・市道の安全性の観点から道路の安全点検について、年何回の実施を行い道路管理者との連携をどのように行っているのか伺う ② 南城市内の下水道管の耐用年数の把握はしているのか今後の対策や今後の取り組みについて伺う	市 長
14 島袋 裕介 議 員	1. 県道86号線について	県営大里第2団地付近の県道86号線に、水が流れている箇所が2か所あります。歩行者の妨げになり、交通量も多く対策が必要と考えるが現状と認識について伺う。	市 長
	2. まちづくり振興基金について	合併特例債を原資に基金として積み上げているまちづくり振興基金について伺う。 ① 基金に積み立てた合併特例債の償還状況 ② これまでの主な活用実績 ③ 今後の活用方針	市 長
	3. 中学校部活動について	教職員の負担軽減、働き方改革を目的に部活動の技術指導や大会への引率等を行うことができる部活動指導員について伺う。	教育長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月14日（金）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
		① これまでの部活動指導員の配置状況 ② 部活動指導員の現状と課題 ③ 令和7年度の部活動指導員の方針	
	4. 公共施設について	公共施設の再編や改修、新たな公共施設の整備を進めている本市の取り組み等について伺う。 ① まちづくり交流拠点の再編の考え方及び1月30日に行われた市民説明会の参加状況や主な意見 ② 歴史文化発信拠点の進捗状況と課題及び複数の公共施設に保管している貴重な収蔵品についての詳細	市長 教育長
15 知念 俊也 議員	1. 南城市ムラヤー整備事業について	ムラヤー建設補助金上限 1,500 万円の中、南城市船越ムラヤー整備事業費として総事業費約3億4,100 万円計上。 昨年 12 月議会にて質疑した中で昨今の物価高騰等も踏まえ、今後は増額改定していくと答弁があった中、見解を伺う。	市長
	2. 公共施設について	まちづくり交流拠点施設計画策定に向け1月30日に市民説明会を行った中、今後の公共施設再編において、市民の声、参画をどのように考えているか見解を伺う。	市長
	3. 地域課題について	① 屋嘉部 79-2、以和貴保育園、市道にかかる出入り口において保護者より送迎時、急坂、急カーブの為、ヒヤリとする場面が多々あり、安全対策等を願うとの声があるが見解を伺う ② 玉城那覇自転車道線、屋嘉部～糸数区間にて糸数区児童生徒の通学路として利用しているが落ち葉散乱し、木々等自転車道にせり出しており、また、ナンバーが切り取られた放置バイクなどもあり、防犯、安全性が危惧される。対策を願います。また、屋嘉部 315-1 番地歩道、自転車道潰れ地、不法投棄車両など今だに対応していないが見解を伺う	市長
	4. 道路行政について	以前質問した佐敷～つきしろ避難道路建設についての答弁において南部東道路の延伸を優先したいとあった中、国道 331 号バイパスの早期整備における見解を伺う。	市長
16 西銘 幸太 議員	1. 観光目的税(宿泊税)について	現在沖縄県が進めている、観光目的税がありますが、南城市としての今後の取り組みについて伺います。 ① 今後市としてどの様に取り組んで行くのか伺う ② 沖縄県との連携について伺う	市長
	2. ビニールハウス補助について	ビニールハウスの新規補助はありますが、補修費や撤去補助について伺う。 ① 南城市での取組で今後撤去費や、補修費の新たな補助メニューを作る予定はないか伺う ② 今後、沖縄県と連携を取り農業従事者の負担軽減に繋がる取り組みが出来ないか伺う	市長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月14日（金）

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
	3. 久高島貯水タンクについて	令和4年9月の一般質問にて伺いました、久高島貯水タンクの進捗状況を伺います。	市長
17 高江洲 順達 議員	1. ふるさと納税自治会支援の制度化について	<p>令和5年9月定例会でふるさと納税自治会支援の制度化について発議したところ、ふるさと納税の寄附金を地域振興費へ充当し、地域の活性化に活用させて、広義において、本件については、既に実施されているものと認識しております。と答弁がありました。そのことについて以下4点伺います。</p> <p>(1) ふるさと納税の一部を地域振興費として自治会に還元することは行政の役目であって、どの自治体でもやっていることである。それとは別に自治会が主体性を発揮して自主財源を生み出すという仕組みを行政が作ってほしいと考えるが所見を伺う</p> <p>(2) ふるさと納税の寄付金を増やすために自治会に汗をかかす仕組み、いわゆる地元出身者へのアプローチ・掘り起こしは自治会にしかできない。そこに着眼すれば制度化は可能であると考えが所見を伺う</p> <p>(3) 自治会が第2の収入源として自ら自主財源を作り出すのが地域活性化ではないか所見を伺う</p> <p>(4) 施政方針のむすびに、いみじくも「共創と連携」を通じて、市民一人ひとりが主役となり、幸せを実感し、市の発展に貢献できる環境を創り上げてまいります。ということが、ふるさと納税自治会支援制度の導入ではないのか伺う</p>	市長
	2. 施政方針について	<p>(1) 観光地域づくり法人設立に向けた取り組みを進めてまいります、とあるが具体的なアクションもあるのか。伺います</p> <p>(2) 観光地としての魅力を高めるため、斎場御嶽周辺、市内県道及び国道沿いの繁茂した樹木の伐採を強化し、良質な景観づくりを創出してまいりますとあるが、良質な景観づくりに花一杯運動は、含まれるのか伺う</p>	市長
	3. 地域課題について	市道佐敷大里連絡線へのガードレールの設置について県道137号線から、交差する市道佐敷大里連絡線へ上がる時、左側にガードレールがなく極めて危険である。かつては、雑木・雑草がガードレールの役目を果たしていたが、近年、環境美化のため伐採したら川底が眼下に赤裸々に見渡せる。車道のラインがないため車両が突っ込む恐れがある。ガードレールの設置を求めます。	市長

令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月14日(金)

質問者	発言事項	要 旨	答 弁 者
18 上地 寿賀子 議員	1. エキスパート職員の配置について	<p>市民ニーズが多様化する中で本市におきましてもこども相談課やこども保育課、幼児教育センターの設置など市民ニーズへの対応や業務に特化した体制づくりに取り組んできております。</p> <p>各課の窓口業務におきましても相談などで来庁した市民へ丁寧な対応を心がけていると思いますが、相談ごとには専門的な部分もでてくることから次について伺います。</p> <p>① 窓口業務に対応する職員の研修等の実施について                  ② 専門性に長けた職員の人材育成について                  ③ 長期配置を目的とした各課におけるエキスパート職員の配置について                  ④ 各課で関連する業務の横の連携として、DXによる見える化で業務効率及び窓口対応の向上性について</p>	市 長
	2. 補聴器購入費用について	<p>加齢による難聴への補聴器購入費用の助成金事業が本市におきまして昨年8月から開始しました。これまで多くの方から補聴器購入費用の助成が求められてきており、助成金事業を利用した市民からは補聴器を装着することにより家族や友人知人との会話がスムーズになり、日常生活の爽快感や億劫になっていた外出の機会が増えたという声があり大変良い効果もたらされています。</p> <p>しかしながら補聴器は高額であり自己負担の金額も安価なものではないことから次について伺います。</p> <p>① 昨年8月から助成金事業を開始しておりますが、これまでの実績について                  ② 補聴器購入費用助成金事業の周知について                  ③ 補聴器購入費用助成金額の上限額の引き上げについて</p>	市 長
	3. 生ごみ処理機助成金について	<p>環境をよくしていこうという社会意識も高まる中、本市におきましても生ごみを処理する容器や処理機の助成金事業を実施しており市民からも大変好評であります。</p> <p>昨年9月28日付け沖縄タイムスで本市の生ごみ処理機助成金事業が新聞紙面に大きく取り上げられたこともあり、当時も良い反響がありましたが今後もその需要はますます高まってくることで予想されることから次について伺います。</p> <p>① 直近5年間の生ごみ処理機助成金事業を利用した実績                  ② 新年度の当初予算に生ごみ処理機助成事業として1,545,000円が計上されておりますが、積算の根拠について</p>	市 長
	4. 取って付きごみ袋について	<p>取って付きごみ袋は高齢の方や障がいがある方が袋を結ぶさいに結びやすくなっており、容量も取ってが付いていないごみ袋と変わりが無いことから利用するメリットがあります。</p>	市 長

## 令和7年2月定例会 一般質問通告書

令和7年3月14日（金）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		<p>現在は取って付きごみ袋のサイズは燃えるごみ袋中サイズのみとなっておりますが、利便性向上を高めていくため次について伺います。</p> <p>① 取って付きごみ袋の導入に至った経緯について</p> <p>② 取って付き燃えるごみ袋中サイズの販売枚数の推移について</p> <p>③ 取って付きごみ袋のサイズを大サイズ、小サイズと展開できないかについて</p>	